Premium Tail Muffler
№. MBL8Y00 A
取付・取扱説明書

株式会社オートエクゼ
〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ プレミアテールマフラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書にしたがって作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

取付可能車種 ※車検証の備考欄にマフラー加速騒音規制適用車と記載されている車（平成 22 年 4 月 1 日以降の生産車）

⚠ **注意：本品を下表の取付可能車種以外に取付けをしてしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両の保安基準に合致せず違法改造となります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。**

部品番号	性能等確認済 表示番号	取付可能車種			
		車種名・グレード	型式	エンジン型式	年式
MBL8Y00 A	JATA-10100005S	アクセラスポーツ 20S／20C	DBA-BLEFW	LF-VDS	2010 年 4 月～2011 年 9 月
		アクセラスポーツ 20S・20C-SKYACTIV	DBA-BLFFW	PE-VPS	2011 年 9 月～

取付可能車種 ※上記以外の車（平成 22 年 3 月 31 日以前に生産された車両）

部品番号	取付可能車種				
	車種名	型式	エンジン型式	年式	ミッションタイプ
MBL8Y00 A	アクセラスポーツ 20S／20C	DBA-BLEFW	LF-VDS	2009 年 6 月～ 2010 年 3 月	5AT 車

構成部品

№.	部品名称	仕様	数量
①	メインサイレンサー	ステンレス製 メインΦ60．5 テールΦ115×95	1
②	サポートパイプ	ステンレス製 Φ60．5	1
③	ボルト	M10×35 スチール製	4
④	ワッシャー	M10×18×2．0 スチール製	4
⑤	フランジナット	M10 スチール製	4
⑦	リングガスケット	純正ミドルパイプ～サポートパイプ間用	1
⑧	マフラーガスケット	サポートパイプ～メインサイレンサー間用	1
⑨	ユーザー登録フォーム		1
⑩	取付・取扱説明書	本書	1

⚠ 注意事項（ご使用者の方へ）

- ●本製品はユーザー登録対象製品となっております。ユーザー登録フォームは、万が一の製品不具合情報や、商品に関する重要なお知らせなど、当社からお客様へご連絡を差し上げる際の重要な資料となりますので、必ずご登録くださいますようお願い申し上げます。
- ●エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっております。特に後端のテールパイプ部分は、自動車の外に露出していて接触しやすいので十分に注意してください。触れると火傷する危険があります。お子様には特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする時、衣類がテールパイプに接触すると、焦げたり溶けたりすることがあります。駐停車する際にも周囲に十分気を付けて下さい。
- ●マフラーは消耗品です。正しい使用方法を守り、経年変化等により本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- ●ジムカーナやサーキット走行など特殊な用途でのご使用は、製品の耐久期間が著しく低下する恐れがあります。予めご了承ください。

⚠ ステンレス材の取扱について

- ●本製品はオールステンレス素材バフ仕上げ製品となっており、きれいな状態を保つには日頃のメンテナンスが必要です。ご使用中の汚れは、定期的に中性洗剤を薄めた液をスポンジなどにつけて水洗いし、汚れがひどい場合やムラ焼けが発生したときは、早めに金属みがき材（日本磨料工業㈱製 ピカール液など）で磨いてください。
- ●ステンレス材の色焼けは素材の特性ですので、あらかじめご了承ください。
- ●取り付け作業中およびご使用中に付着した油よごれなどをそのままにしておくと、ムラ焼け（または黒色変色）の原因となります。付着した場合は柔らかい布などを使用して完全に拭き取っていただき、またむら焼けが発生したときは、早めに金属みがき材で磨いてください。

⚠ 注意事項（取付作業者の方へ）

●マフラーの交換は、設備の整った自動車整備工場等で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の恐れがあり大変危険です。装着作業は専門の整備工場等に依頼してください。
●エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっており触れると火傷する恐れがあります。必ずマフラーが冷えたのを確認した上で作業を行ってください。また、火傷を防ぐため作業中は耐熱性のある手袋を必ず着用してください。
●排気関係の部品は錆び付いており、ボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとボルトが折れたり、ナットが破損したりする可能性があります。事前にスプレー式浸透性潤滑剤を塗布するなど、適切な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
●マフラー交換は自動車の床下で交換を行う作業のため、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると大変危険です。必ず自動車作業専用のリフトを使用して安全に作業を行ってください。やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は、地面が沈まない硬い水平な場所で、リジットラックを併用して作業を行ってください。尚、車載ジャッキのみでの作業は大変危険ですので、絶対にお止めください。
●取り付け時には、各部のクリアランスが保てる様に注意してください。特にブレーキ関係、燃料関係、駆動系関係及び電気関係の配線には細心の注意を払ってください。
●マフラーハンガーに、割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合は、落下防止のため必ず純正の新品マフラーハンガーに交換してください。
●当製品は量産車をベースに、できるだけ簡単かつ確実に装着が出来るよう設計・開発を行っておりますが、車両の製造固体差（エンジンの搭載位置やミドルパイプの製造個体差）などの影響により、左右のテールガーニッシュの配置や突出量に差が出ることがあります。あらかじめご了承ください。
●本製品は、テール部外径が純正マフラーに対して大きくなっています。そのため車両の個体差により、テール部分がバンパーなどに干渉する場合があります。その場合にはエキゾーストマニホールド、ミドルパイプ、触媒等マフラー前側の調整により取り付け位置を修正することができます。また、純正エキゾーストマニホールドやミドルパイプが走行中に縁石などへの接触により変形しているような場合についても、テール部がバンパー等に干渉し位置が合わない場合があります。

装着手順

1，取付・取扱説明書に記載の取付可能車種と、実際に取付けを行う車両が同一であるかを確認します。

⚠ご注意：本品を取付可能車種以外に取り付けをしてしまうと、国土交通省令に定める道路運送車両の保安基準に合致せず違法改造となる場合があります。取付可能車種以外へのお取り付けは絶対に行わないでください。

2，整備書などを参照にして、純正マフラーを取り外します。

3，②サポートパイプを車両のマフラーハンガーに取り付けし、純正ミドルパイプに仮付けします。その際、フランジの間には⑦リングガスケットを挟み、③ボルト、④ワッシャー、⑤フランジナットを使用して仮締めします。

4，①メインサイレンサーを車両のマフラーハンガー取り付けし、②サポートパイプに仮付けします。その際、フランジの間には⑧マフラーガスケットを挟み、③ボルト、④ワッシャー、⑤フランジナットを使用して仮締めします。

5，マフラー本体を手で揺すって位置を落ち着かせた後、各車両部品とのクリアランスは適切に保持されているかを確認しながら各部を本締めします。

●締付けトルク ＝ ３８．０～５１．０ Ｎ･ｍ（３．９～５．２ ｋｇｆ･ｍ）

6，マフラーのむら焼けを防止するため、取り付け作業時に付着した油分や汚れをパーツクリーナーなどできれいに拭き取り作業完了です。